

3月定例議会の審議結果

3月定例議会では、平成30年度の予算のほか、補正予算や条例の改正などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。（各議案の審議結果は11ページに掲載しています。）

予算トピック

平成30年度当初予算

平成30年度の各会計の当初予算については、3月13日から15日に開催した予算委員会では、審議を行った後、議場において採決しました。

この中で、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算と後期高齢者医療特別会計予算に対し、討論が行われましたが、採決の結果、いずれの会計についても全会一致又は賛成多数で可決しました。

（委員会の審査内容は4～6ページに掲載しています。）

庁舎移転事業

3290万円

新庁舎整備基本計画に基づき、基本設計業務を行います。

また新庁舎に導入する免震構造に必要な性能を確保するため、模擬地震波を活用した構造の検討を行います。

（仮称）海田公民館を整備

8億2539万円

施設の老朽化に対応し、地域活動及び生涯学習、まちづくり等の拠点となる（仮称）海田公民館を2か年で整備します。

教育

Q 不登校児童生徒が多いが対策は考えているのか。

A 指導員の勤務時間の延長や相談専用電話の開設で対応する。

Q ICT教育モデル校といながらタブレットがクラス全員分ない。効果が半減するのではないか。

A 増やすことについては平成30年度の成果をみて判断する。

Q 各学校からの予算要求を直接出向いて聞く必要があるのでは。

A 平成30年度の予算執行状況を見ながら、平成31年度の予算編成の際は要望を聞きたい。

Q 海田小学校の放送設備更新を早くすべきではないか。

A 5月の運動会までには終わるようにする。

Q ふるさと館の活用方法を考えるべきではないか。

A 社会教育全体で位置付けを考えていく。



よく聞こえるようになります

Q 通級指導教室は何か。

A 保護者の要望も聞きながら2クラスで対応している。

Q 中学校競技力向上事業の内容は。

A 運動部だけでなく文化部も含めて外部指導者11人への謝礼支払いを予定している。

中学校にICT機器整備

632万円

海田西中学校をモデル校に指定し、生徒用タブレット20台と無線LANを整備し、ICT機器を活用した教育の研究を行います。

観光振興アクションプランを策定

512万円

町の観光を活性化するための具体的な行動プランを策定します。

私立保育所整備への補助

5100万円

海田市駅南口に計画中の、商業施設2階の一部に認可保育所を整備する事業者に対し、経費の一部を補助します。

特定健康診査を無料化

2421万円

国民健康保険被保険者（40歳以上）の特定健康診査受診率向上のため、自己負担金を無料化します。

不登校児童生徒への支援を強化

736万円

適応指導教室の開設時間拡大や、家庭教育支援ネットワーク構築により相談・支援体制の充実を図ります。

空家等対策計画を策定

433万円

空家の発生予防・活用推進や管理不能な空家の除却などため、計画を策定します。



タブレットを使った授業風景